

JENESYS2015 (招へい)

(対象国：タイ, 文化(日本語コミュニケーション・日本文化体験)・技術(ものづくり文化交流)) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、タイより文化(日本語・日本文化)と、技術(ものづくり)に関心を有する大学生 51 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、11月30日から12月8日までの8泊9日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

タイ 51 名

3. 訪問地

東京都、大分県

4. 日程

11月30日(月) 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

12月1日(火) 【日本理解講義、基調講演】

【歴史・伝統文化】浅草・江戸東京博物館

12月2日(水) 【最先端技術】日本科学未来館

大分県へ移動

12月3日(木)～12月6日(日)

2つのグループに分かれ、大分県各地を訪問

1. グループA：大分県(文化)

【地域産業視察】TOS テレビ大分

【地域交流】ホームステイ

【学校交流】大分大学

【歴史・伝統文化】茶道体験、琴・笛鑑賞、鉄輪温泉・海地獄

【ワークショップ】報告会準備

2. グループB：大分県(技術)

【地域産業視察・体験】オムロン太陽株式会社工場、車いすバスケットボール体験

【地域交流】ホームステイ

【学校交流】大分大学

【歴史・伝統文化】別府市竹細工伝統産業館、鉄輪温泉地熱観光 LAB 縁間、臼杵市石仏

【ワークショップ】報告会準備

12月7日(月) 東京へ移動
 【報告会】訪日成果・帰国後活動計画発表
 12月8日(火) 成田国際空港より出国

5. プログラム記録写真

	
<p>12月1日 【最先端技術】日本科学未来館 (東京都)</p>	<p>12月3日 【歴史・伝統文化】別府市竹細工伝統産業館 (大分県)</p>
	
<p>12月3日 【歴史・伝統文化】臼杵市石仏 (大分県)</p>	<p>12月4日 【地域産業視察】TOS テレビ大分 (大分県)</p>
	
<p>12月4日 【学校交流】大分大学 (大分県)</p>	<p>12月5日 【ホームステイ】(大分県)</p>

6. 参加者の感想

◆ タイ 大学生

日本人の礼儀作法に感動しました。ホームステイに行った時も大学交流に行った時も、大人も子供も顔を合わせたり目が合ったりすると互いに挨拶していました。店の販売員も大変礼儀正しく、顧客に対して笑みを絶やさず親しみを込めて接していたことも印象的でした。また、日本には大変優れた法律があると思います。横断歩道では歩行者用信号が青になると車両は停車し、ほとんどの日本人が整列して横断歩道を渡っていました。自転車は横断歩道を渡る時に自転車専用レーンを通行しており、歩行者用信号が赤になっても車両は全ての横断者が渡りきるまで待っていました。日本人がこうした礼儀作法や決め事に大変配慮をしていることなど、帰国後は見聞きしたこと・学んだことの全てを発信していきたいと思います。

◆ タイ 大学生

全てが初めての体験でしたが、日本にとっても感動しました。日本は安全で大変美しく、人々も親切です。ホストファミリーは私達を本当の家族のように温かく迎え入れてくれて感激しました。また帰って来たいと感じました。浅草を始めとする観光地だけでなく、今回のプログラム通して訪れた場所で得た情報はとても多く、そして興味深いものでした。友人・先生・両親・知人に日本について伝え、自分が感じ学んだ事、感動した体験を共有したいと思います。心から日本に住んでみたいと思いました。

◆ タイ 大学生

私は元々日本が大好きでしたが、これまで訪れる機会がなかったため、日本に行くことができるとわかった時からとても楽しみにしていました。初めて日本を訪れることができ、とても嬉しかったです。実際に日本人が暮らす様子を見て、大好きな日本食を頂き、素敵なホテルに宿泊し、海地獄・大分テレビ等を訪問して、これまで知らなかった多くの知識を得ることが出来ました。また、かかわった人はみんな親切にいろいろ助けてくれ、友人も出来ました。中でも最も人々の温かさに触れ、感動したのがホームステイでした。東京の人とは異なる大分県の人々の生活様式に触れることが出来ました。大分県の人々は親しみやすく親切です。今回訪日し、多くを得る機会を得たことに感謝します。

◆ タイ 大学生

科学未来館の見学が最も印象的でした。なぜなら、子どものロボットのテレロイドから大人のロボットオトナロイドまで見られ、大変人間に似ていたからです。人間の問いかけに対応して話すこともでき、将来ロボットはより人間に近くなり、人間にサービスするようになることは確実だと思いました。またマイクロコントローラーを使用した手術も行われるようになるでしょう。人間の体内に仕込まれたロボットの手がマイクロコントローラーの制御により動いて、モニター画面の映像を見ながら腫瘍を摘出できるのです。このような技術は将来の世界の医療を大きく進歩させるものだと思います。

7. 参加者の帰国後の発信内容

<p>สิ่งที่ค้นพบและความรู้ที่ได้จากการเข้าร่วมโปรแกรม</p>	<p>HOW</p>
--	------------

日本での気づき

アクションプラン

III. Our Action Plan (Actions to be taken) アクションプラン

Project title: プロジェクトタイトル (Inside out of action Technology)

WHY: (Reasons to do it) 考えられた理由

WHEN: (When will it be done?) いつやるか

WHO: (To whom?) 誰に話してやるか

WHAT: (Details of the action) 何をやるか

HOW: (How to do) どうやってやるのか

- 1) ...
- 2) ...
- 3) ...
- 4) ...

日本での気づき

FACEBOOK

アクションプラン

INSTAGRAM

Facebook 発信

Instagram 発信